

# 京都大学理学部 九州地区講演会

対象

主に高校生、  
保護者、  
教育関係者



火山や素粒子の研究から、見えない世界の面白さが見えてくる。

本講演会では、京都大学で活躍する研究者2名が最先端の研究を紹介します。自由な発想を大切にする京都大学の魅力に触れながら、科学のおもしろさや、その社会での役割について感じていただくことを目的としています。

ミクロな世界のしくみを解き明かす量子多体系研究で用いられる測定器と、地球規模で展開されている重力観測の手法とが融合し、九州の火山活動の観測に適用される事例にも触れながら、地域社会に最先端科学が貢献しうる可能性についても知っていただく予定です。

また、探究活動や研究発表のヒントになるよう、大学院生や研究者による研究発表ポスターもご紹介します。

さらに、京都大学理学部の入試や大学生活について、気軽に質問できる個別相談会も実施します。進学を考えている方や保護者の方も、ぜひご参加ください。

日時： 2026年 **5月31日** 10:00-14:00

場所：エルガーラホール  
〒810-0001  
福岡県福岡市中央区天神1丁目4番地2号



アクセスマップ

当日スケジュール（開場 9:30。途中入退室可。）

- 10:00-11:00 講演 1 「重力観測を用いた火山活動モニタリング：桜島・阿蘇への適用例」
- 11:00-12:00 講演 2 「陽子の内部を大型加速器で探る - 量子色力学の世界 -」
- 12:00-13:00 大学院生・研究者による研究発表ポスターの紹介 および 昼食休憩（同時進行）
- 13:00-14:00 入試説明会・個別相談会

入試や  
大学生活の  
個別相談も！



風間 卓仁 博士

京都大学大学院理学研究科

重力観測を用いた  
火山活動モニタリング：桜島・阿蘇への適用例

重力加速度は高校物理で $9.8\text{m/s}^2$ と学びますが、実はこの値は近似値です。重力加速度は場所ごとに異なる値となり、細かい桁では時間変化もしています。また、重力加速度を高精度に観測することで、地球の内部構造を「透視」することもできます。本講演では、重力加速度が場所や時間で変化する理由について解説するとともに、重力加速度の観測を桜島・阿蘇山などの火山活動監視に適用した実例を紹介いたします。



富田 夏希 博士

京都大学大学院理学研究科

陽子の内部を大型加速器で探る

私たちの身の回りの物質は、陽子・中性子・電子からできています。電子は内部構造を持たない素粒子で、陽子と中性子はクォークとグルーオンによってできています。しかし、クォークとグルーオンからどのように陽子ができているかはよく分かっていません。本講演では大きな加速器と呼ばれる装置を使って、陽子の内部を調べる実験についてお話します。また風間博士と一緒にいる、加速器実験用の放射線測定器を火山観測へ応用する研究も紹介します。



お問い合わせ先

京都大学大学院理学研究科 附属サイエンス連携探索センター アドミッション戦略室  
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 Mail: 050adoffice@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

主催：京都大学理学部・大学院理学研究科

後援：山口県教育委員会、福岡県教育委員会、佐賀県教育委員会、長崎県教育委員会、  
熊本県教育委員会、大分県教育委員会、宮崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会

参加申込方法

下記申し込みフォームより  
お申し込みください。

<https://forms.gle/dn691reeezRkoc6U6>

申込フォーム



申し込み締め切り：5月28日(木)